

生命科学科 学生座談会 【入試編】 を開催！

～鳥取大学の入試や学生生活について、在学生で話しました～



この景色は、私たちが毎日を過ごしている生命科学科棟からのぞむ中海（汽水湖）です。私たちのキャンパスは、JRの主要駅（米子駅）から徒歩15分にありながら、この中海にそった公園に面しているので、便利でありながらも、とても落ち着いているという、恵まれた環境にあります。

この中海はきれいに雪化粧をしています。ところが、(残念なこと?) 米子はいわゆる雪国ではありません。米子というと、雪を頂いた大山やその山麓のスキー場をイメージする人も多いかもしれませんが、市内に深い雪が積もることはあまりありません。暖かい地方で育った私は、いまだに雪を見るとなんだかうきうきとしてしまいます。

受験生の皆さんにとっては、いよいよ一番大事な時期ですね。今回は、生命科学科の学部2年生から修士2年生までの11人の学生さんに集ってもらい、鳥取大学の生命科学科や入試に関する様々な話題について、良いことも悪いこともざっくばらんに話し合ってもらい、未来の後輩たちに向けたアドバイスや応援メッセージを集めました。ところどころ、教員の考えも交えながら紹介していきます。1年生たちからのメッセージは <http://www.med.tottori-u.ac.jp/files/10636.pdf> をご覧ください。

*この内容は一部の学生、教員の意見によるものであって、生命科学科全体としての公式の見解ではありませんが、これから生命科学科をめざす受験生および保護者の方の参考になる点があるかもしれません。

① 入試に関して

本学科の学生さんたちの中には、ずっと前から決めていた人やセンター試験後に初めて知った人、オープンキャンパスに来てくれた人や参加できなかった人まで様々です。そこで次の質問をしてみました。

話題1：生命科学科をどのように知ったのか、そのときの印象は？

「センター試験後に、本で見つけた。もともと医療に携わる仕事がしたかったので、医学部の中にある生命科学科に興味を持った」

「鳥取大学に通っている友人から話は聞いていた。センター試験後に大学を訪問して、施設を見学して決めた」

「高校で生物の先生に相談したところ、鳥取大の生命を薦められた」

「獣医に興味をもつ過程で、生命科学科のことを知った」

「センター試験にホームページを見て知っていた。浪人中にオープンキャンパスに参加して興味を深めた」

「医学科に興味を持っていたが、オープンキャンパスに参加して進路希望を変えた。」

「他大の生命に行きたかったので、鳥取大の生命科学科のことは知っていた。中四国の大学共同説明会を見て、興味を持った。」

「医師を目指していたので始めは興味が無かったけど、あるのは知っていた」

「鳥取砂丘を見にきて、オープンキャンパスにも参加した。アットホームな雰囲気の良い印象を受けた」

「センター試験後に、本で見つけた。もともと医療に携わる仕事がしたかったので」

ちなみに座談会メンバーのうち、オープンキャンパスに来たことがあるのは11人中4人でした。また、11人中やはり4人がセンター試験後に初めて本学のことを知ったそうです。

話題2：鳥取大学の生命科学科を受験した決め手となったのは？

「鳥取大学に通う友人が、ここが一番と進めてくれた。」

「医療に携わる仕事がしたかったので、医学部の中にある生命科学科というのが大きかった」

「得点のボーダーで決めた」

「センター試験の点数を、2次試験で逆転できると思ったから」

「他大学の大学院に通う学生さんが、鳥取大学の生命を勧めてくれた」

「自分の気持ちは鳥取大に決まっていたが、親に理解してもらう必要があった」

鳥取大学に通うことをご両親にも納得してもらうにはとても重要なことだと思います。学生さんたちの話を聞くと、お父さんやお母さんの心配は「就職はできるの？」とか「一人暮らしができるの」という内容が多いようです。

もちろん鳥取大学の生命科学科を卒業したあとはどんな進路が待っているのでしょうか？これは保護者の方や受験生の皆さんだけでなく、在学生にとっても、非常に関心のあつたテーマだと思います。そこで、「卒業後の進路の決定に関して（就職か進学か?）」については

学生座談会【就活編】(<http://www.med.tottori-u.ac.jp/files/13310.pdf>)を作成しましたので、ぜひそちらもご覧下さい！

それでは米子の街の暮らしやすさはどうでしょうか？一言でいえば、生活圏がコンパクトにまとまっていて、安全で暮らしやすい街です。大変ありがたいことに、米子の街の皆さんも鳥取大学とそこに通う学生さんのことを大切にしてくれています。

米子での学生生活に関する情報は [こちら](#) をご覧下さい。
<http://www.med.tottori-u.ac.jp/files/2960.pdf>

鳥取大学には、北海道から沖縄まで、全国各地出身の学生さんが在籍しています。とくに地域的な片よりもありません。それでは皆さんどうやって帰省しているのでしょうか？その点もご心配ありません。米子駅はJRの主要駅で、電車だけでなく、東京や九州を含む各都市への高速バス網も充実しています。さらに、ANAに加えてスカイマークが米子鬼太郎空港に就航しました (<http://www.med.tottori-u.ac.jp/access/11914.html>)。バスや電車より少しお金はかかるかもしれませんが、東京（羽田・成田）、千歳、神戸、茨城に行くことが可能です。（追記：就航状況は刻々と変わるので航空会社のHPで必ずご確認ください）

② 鳥取大学での生活に関して

話題3：鳥取大学に入って良かったことは？

「先生との距離が近く、指導してくれる先生と直接ディスカッションできる」

→これは現在卒業研究をしている4年生のなまの声ですが、じつはこれが鳥取大学生命科学の大きなアピールポイントでもあります。当学科における教員一人当たりの学生数の少なさは、全国の大学にある生命科学科でトップレベルです。このことは、一人ひとりの学生さんと教員がじっくり向き合うことを可能にしてくれています。とくに卒業研究では、医学科も含め多数に研究室から自分の進路を選ぶことができるので、先の学生さんのような実感がうまれるのです。

「研究生活は時間に縛られない。このことが逆に楽しみ」

→これもある大学院生の意見です。研究を志して入学しても、実際に卒業研究が近づき、先輩たちが昼夜を問わず研究に打ち込んでいるのを見ると、自分にもできるのか、誰でも不安になります。ところが実際に研究室のメンバーに加わって見ると、不安は消えていき、科学的な面白さが大きくなっていくという経験をほとんどの先輩たちがしています。そして研究の面白さにハマってしまうと、研究が中心の生活になり、彼のいうとおり、むしろ時間に縛られなくなってしまうのです。

彼は他大学の大学院のことも調べたり見学したりした上で、本学の博士課程に進学することに決めたそうです。今後の更なる活躍を期待しています。

「研究設備が充実している」

→これも本学科が自信を持ってアピールできるポイントの1つです。生命科学の研究を、国内はもちろん世界にも負けないレベルに進めていくためには、大型の（または高額な）機器を準備する必要があります。さらに、それらの機器を使いこなしたり、研究の進行をサポートするスタッフも欠かせません。医学部の中にある本学科はそれらのハード・ソフト両面でも充実しています。

・ 生命科学研究のための動物実験サポート体制の充実

生命科学や医学の実験には動物実験が必要となる場合がありますが、それを適切に行うためには、動物を飼育・管理するための施設と実験をサポートする専門のスタッフが欠かせません。

・ 遺伝子実験施設

大型の機械や高額な機器は個々の研究室で持つよりも、多数の研究室が共同で保有・利用の方が効率的です。鳥取大学の医学部では、遺伝子実験施設に様々な先端機器が整備されており、それらを利用することができます。医学部3学科の研究室が皆で利用するので、それに答えるべく、多様な実験機器やサポート体制が整備されています。

- ・ **とっとりバイオフロンティア構想**

鳥取県では産学官の連携事業としてとっとりバイオフロンティア構想を進めており、そのための施設が鳥取大学米子キャンパス内にあります (<http://www.bio-frontier.jp>)。このとっとりバイオフロンティアの施設内にある先端の研究機器類は、学生たちの研究にも解放されています。

話題4：もっとうだったら良いのと思うことは？

「鳥取（湖山）キャンパスと米子（医学部）キャンパスのギャップが激しい」

→生命科学科の学生さんは最初の一年を教養部のある鳥取（湖山）で過ごします。総合キャンパスの鳥取と、医学部だけの米子キャンパスの違いに、良くも悪くも皆さん戸惑うみたいです。

「米子の大学生協が、鳥取（湖山）キャンパスに比べて使いにくい」

→生協のスタッフも学生さんのためになるようにがんばっているのですが、少しでも改善できるように話してみます（教員補足）。

「本当はもっと都会が良かった」

→多くの学生さんの本音でもあるようです。でもその一方で、豊かな自然に囲まれている、魚をはじめ食べ物がおいしい、家賃が安いなど、米子ならではのメリットも皆さん感じているようです。

なお米子と鳥取は地方の中心都市でもあるので、公共施設やスーパー・ショッピングセンター等は充実していますので、日常の生活に困ることは決してありません。

話題5：センター試験に向けて、生命科学科の先輩たちからのアドバイスと応援メッセージ！

センターの点数は最後まで伸ばせます！
あきらめず、コツコツ頑張ってください。

「研究がしたい！」と思う人にはぴったりの学科だと思います。
苦しいのはあと少し！新しい生活のため、がんばってください。

センター試験当日まであきらめないでがんばってください。
体調に気をつけて下さい！！

色々な学校、学部、学科の特徴を調べて自分のマッチするところを選んで下さい

リラックスしたら大丈夫。
2次が終わったらいっぱい遊びましょう！！

インフルエンザの予防接種を受けましょう

とりあえず体調管理はしっかり。
私は緊張してごはんが食べられなくて辛かったので、きちんと食事はとってください。

とにかく栄養たっぷりの食事で体調管理をしよう！
あとは今までの努力が道を開いてくれます。

冬はいろいろ雑念の入ってくる時期ですが、残り少して大学生活が大きく変わります。
がんばって下さい。

試験にはチョコレートを持っていこう。

新聞などを読んで生物系はもちろんだが、政治・経済など時事ネタに関心を持ち、学んでおく。

リラックスしてたら大丈夫。
2次が終わったらいっぱい遊びましょう！！

判定は良くも悪くもあまり気にせず、がんばって下さい。

面接の練習を理科の先生などとやってみる。

センターの点は、とれるだけとっておくのが良い（あたりまえだけど……）。
毎日ねる前に、自分が大学にとって楽しんでいるのを想像すると、モチベーションUP！！

判定が悪くても本当に行きたい大学だったらあきらめないで最後までやって下さい。

焦らず、今自分ができるところをしっかりとマイペースに行い、すごしてください。

やることは、
学んだことを吐き出すだけ。
リラックスしていこう！

少しでも興味があるなら是非鳥取に来よう！やってみたいと思う好奇心が君を成長させてくれるはずです。

この他にも、鳥取大学での生活や入試に関する情報はこちらにも掲載しています。

[鳥取大学医学部 生命科学科 Top](#)

<http://www.med.tottori-u.ac.jp/1/3/1263.html>

(各研究室のサイトにアクセスできます)

鳥取大学生生命科学科入試情報のページ 受験生向けの Q & A [①](#)、[②](#)

<http://www.med.tottori-u.ac.jp/1/3/666/895/4878.html>

<http://www.med.tottori-u.ac.jp/1/3/666/895/7653.html>

[生命科学科ブログ](#) <http://ameblo.jp/toridaiseimei/>

(生命科学科の出来事がつづられています)

[生命科学科学生ブログ](#) <http://ameblo.jp/toridai-seimei/>

(現在更新は止めていますが、アーカイブに自信あり)